市長日記

「おもてなしの心」で真の観光都市に

佐世保市長　朝長　則男

アメリカンタウンフェスティバルの開幕式であいさつする朝長市長

今、まちなかでは「アメリカンタウンフェスティバル」(7月1日～8月12日)が開催中です。週末を中心に佐世保らしいイベントが島瀬公園やくっけん広場、アーケード内の各店舗などそれぞれの会場で催され、市外からの観光客や外国人などで大変にぎわっています。8月4～5日には「シーサイドフェスティバル」も同時に開催されますので、まち全体がお祭りムードになりそうです。市外や県外にいらっしゃる多くのお知り合いにぜひとも声を掛けていただき、楽しい夏のひとときをお過ごしください。

また、この秋は下の表のとおり、夏以上に大きなイベントが目白押しです。中でも10月25日に開催される和牛の祭典「第10回全国和牛能力共進会」は、期間中、全国各地から約32万人の来訪者が見込まれており、本市始まって以来の大規模な催しとなります。本市でこのように大きなイベントが相次いで開催されることは、めったにありません。今こそ「佐世保のよかもん、よかところ」を全国へPRする絶好のチャンス！ 本市では関係機関と連携し、さまざまな施策を実施することとしています。

しかし、佐世保市が今後、真の観光都市となっていくためには、行政の施策だけでなく、もう一つ大切なことがあります。それは市民の皆さんお一人お一人に「おもてなしの心」を持っていただくということです。観光の良さは何も名所旧跡巡りばかりではありません。地元の人に道を教えてもらったこと、方言で気さくに話し掛けてもらったことなど、旅先で出会った人に優しく接してもらった思い出などは旅行者の記憶に残り、「またあの人に会いたい」「佐世保にもう一度行ってみたい」という気持ちにきっとつながるはずです。

本市には自然や歴史など、ほかにはない独自の観光資源がたくさんあり、本市はそうした資源を活用した観光都市を目指しています。市民の皆さんには今回のイベント開催を機に、「観光都市佐世保」に必要なものを今一度お考えいただき、ご協力をいただきますようよろしくお願いします。観光都市としての本当の実力が試される大事なときです。26万市民が気持ちを一つにして、「おもてなしの心」で観光客を迎えましょう！

日程	イベント名称	主会場(規模)
9月29日㈯～10月8日㈪	ガーデニングワールドカップ2012	ハウステンボス(約10万人)
9月30日㈰～10月4日㈭	日本油化学会創立60周年記念講演会・同会第50-51回合同年会	アルカスSASEBO(約2,000人)
10月12日㈮～13日㈯	第14回日本医療マネジメント学会学術総会	アルカスSASEBO(約4,000人)
10月19日㈮～21日㈰	第15回YOSAKOIさせぼ祭り	名切お祭り広場など(約24万人)
10月25日㈭～29日㈪	第10回全国和牛能力共進会長崎県大会	ハウステンボスなど(約32万人)

徳育通信⑤

友を思い、共に考え、ともに行動する

4年前に佐世保市教育委員会から「豊かな心をはぐくむ実践研究」の指定を受け、校区内の3小学校と地域との連携を通して、心豊かな生徒の育成を目指した取り組みを始めました。研究2年目に、静岡県袋井市の「おもてなしの心」「一校一徳」の実践に感銘を受け、本校でも「一校一徳(さわやかあいさつ、磨くよ心と校舎)」「一級一徳」「一室一徳」を掲げ、意識高揚を図りました。また当初から青少年赤十字(JRC)の加盟校となり、態度目標の「気付き、考え、実行する」を意識した活動を進めています。今では生徒会が考えた一校一徳「友を思い、共に考え、ともに行動する」を合言葉に、毎朝のあいさつ運動、ごみ拾い登校、小中学校・地域合同ごみ拾い下校、地域清掃や地域行事への参加協力、高齢者施設等での福祉体験・演奏活動などを行っています。そうした活動を通して、生徒たちが確実に豊かな心を育んでいることを実感しています。できることから始める「一徳運動」で佐世保市が優しい人であふれるまちになることを願っています。

佐世保市立山澄中学校　校長　鴨川純一郎

「徳育推進のまちづくり宣言」碑の除幕式

6月26日(火)、本市は市役所本庁舎前に設置した「徳育推進のまちづくり宣言」碑の除幕式を行いました。この碑は徳育推進のまちづくり宣言を市民の皆さんに広く知ってもらうため設置したもので、4月1日に朝長市長が行った同宣言文が記されています。朝長市長は式典で「現代社会は物質的に豊かになったが、人々の心の豊かさが失われつつある。人々のマナーやモラルが低下している昨今、ぜひとも徳育を推進していきたい。宣言文を碑に刻み、徳育が永く次世代に引き継がれることを願っている」とあいさつしました。

歴史散歩　第五六五回

佐世保海兵団之碑

●平瀬町　撮影・文●筒井 隆義

アルバカーキ橋を渡って佐世保公園に入り、米軍基地ニミッツパークへの道の右手の小道をたどると、昔の赤れんがの建物と、高さ六メートルほどの記念塔があります。球型ブイといかりが飾られた「佐世保海兵団之碑」です。

昭和五十四(一九七九)年、当時の佐世保海友会長・村上正夫氏ら有志三十二人の発起で、多くの海軍関係者の浄財で建立されました。碑文には「佐世保海兵団は明治二十二年(注・一八八九年)七月一日、鎮守府開庁と同時にこの地に開隊した。以来およそ六十年、九州四国沖縄から選ばれた護国の赤誠に燃える百数十万の健児たちが、ここで鍛えられ育てられて巣立ち、精強日本海軍の根幹となり、数次の戦において勇名を轟かせた(後略)」と記されています。

この碑文のとおり、佐世保鎮守府開庁と同日制定された海兵団条令によって佐世保海兵団が発足。「軍艦乗組員ノ補充及軍港守禦ノ兵ニ充ツヘキ現役下士卒ヲ教育訓練シ、新兵ヲ徴募シテ予備兵後備兵ヲ召集スル」任務を担いました。

現在の消防局、市立総合病院一帯に庁舎と兵舎が建ち、新兵の募集と火夫、鍛冶、木工、看病夫(後の衛生兵)、厨夫(後の主計兵)の訓練が行われました。佐世保公園とニミッツパーク一帯は練兵場で、激務に耐える壮健な海軍兵の厳しい訓練が展開されました。

福岡・田川出身の太田勝さん(九十歳)は、将来オリンピック水泳選手を目指し、当時「水泳の佐鎮王国」を旺歌していた佐世保海兵団に昭和十五年入団。佐鎮水泳部にはベルリン、ロサンゼルス両大会で連続金メダル獲得の鶴田義行一等機関水兵がいて、親しく指導を受けました。

シリーズ⑥
市内各地で
PR活動中です！！

かさべこくん

和牛の祭典 in ながさき

開催期間　10月25日㈭～29日㈪
メーン会場　ハウステンボス
http://zenkyo-nagasaki.com/

「100日前イベント」で子どもと記念撮影をするかさべこくん(7月7日・島瀬公園)

10月に開催される「和牛の祭典 in ながさき」には、本市の総人口を超える約32万人の来場が見込まれています。この県内外からの来場者の皆さんをお迎えする市内の会場は2カ所あり、全国各地のエリート牛の展示・審査を行うメーン会場はハウステンボス、そして競りは体育文化館(光月町)で行われます(市外では島原会場もあり)。

現在、この大会を多くの市民の皆さんにお知らせするため、市内のいたるところに大会マスコット「かさべこくん」が出掛けたり、ラッピングバス、ポスター、ステッカーなどでPRしたりしています。

全国から集まる来場者の皆さんをおもてなしの心を持ってお迎えするために、市民の皆さんとともに大会を盛り上げていきますので、ご協力をお願いします。そして、大会期間にはぜひハウステンボス会場にお出掛けください。ブランド和牛の試食や音楽ライブ、お笑いステージなどたくさんのイベントを準備してお待ちしています！

問農業畜産課　☎24-1111

人の動き　7月1日 現在

- 総人口 258,865人(－262人)
  男性　121,487人(－127人)
  女性　137,378人(－135人)
- 世帯数 105,802世帯(－103世帯)
  ※6月中の動き
  転入 537人、転出 771人
  出生 190人、死亡 218人

させぼ市政だより

- テレビ(毎週土曜)
  NBC・NIB→9時25分～30分
  KTN・NCC→11時40分～45分
- ラジオ
  NBC　日曜　9時25分～30分
  FM長崎　火曜　9時5分～10分
  FMさせぼ　火曜10時30分～35分
  日曜　9時30分～35分
- 新　聞
  長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
  http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/

携帯サイト

おわびと訂正　「地域包括支援センター運営委託の募集」については、8月1日からの予定(本紙7月号23ページに掲載)でしたが、諸事情により延期します。新しい日程は決まり次第、本紙等でお知らせします。　問長寿社会課　☎24-1111